

「平成29年度普及に移す成果」



抽苔が遅く、収量の多いオオバ新品種「いばらき○3号」(品種登録出願中)

オオバ新品種「いばらき○3号」(オー3号)は、在来系統(以下「在来」)よりも外観に優れ、香りも良好です。また、在来や現在普及している県育成品種「ひたちあおば」よりも抽苔が遅く、多収です。

農業総合センター
生物工学研究所
園芸研究所

外観形状が優れる

- ・葉形は、やや長形、鋸歯の切れ込みが深く、小鋸歯発生頻度がやや多く、「在来」よりも外観に優れます。
- ・草丈は、「ひたちあおば」よりも高く、「在来」よりも低いです。
- ・節数および一次分枝数は、「ひたちあおば」よりも多く、「在来」と同程度です。
- ・葉色は、「ひたちあおば」、「在来」と同程度かやや淡いです。



「いばらき○3号」の葉の形状

表1 冬栽培と夏栽培における各品種・系統の生育特性

作型	品種・系統名	草丈(cm)	節数	一次分枝数	葉色 ³⁾
冬栽培 ¹⁾	いばらき○3号	69.0	13.1	17.6	30.4
	ひたちあおば	61.6	12.3	15.2	28.3
	在来 ²⁾	88.4	13.9	20.1	30.5
夏栽培	いばらき○3号	113.7	18.6	20.3	29.6
	ひたちあおば	72.2	15.2	11.3	31.1
	在来 ²⁾	137.4	20.1	21.8	32.4

¹⁾ 冬栽培: H26. 10. 20 定植、夏栽培: H28. 5. 12 定植、行方地域現地試験の結果。
²⁾ JA なめがた大葉部会在来系統。 ³⁾ 葉緑素計 SPAD-502Plus (コニカミノルタ) による SPAD 値。

ここがポイント 開花が遅く収量が多い

- ・抽苔の時期(開花日)は、電照4時間では、「ひたちあおば」と同等で、「在来」よりも遅く、電照5時間においては「ひたちあおば」、「在来」よりも遅いです。
- ・抽苔が遅く、長い期間収穫できるので、収量は「ひたちあおば」、「在来」よりも多いです。

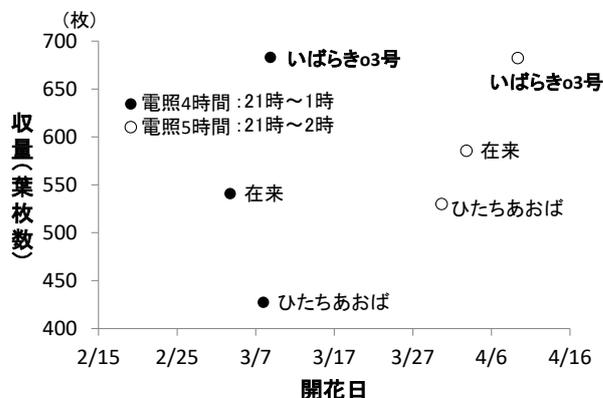


図 各品種・系統の開花期と収量 (H26. 10. 20 定植)

市場性に優れる

- ・生産者、市場関係者から、葉の形状、香りとも「ひたちあおば」、「在来」より優れると評価されました。

表2 アンケート調査¹⁾による「いばらき○3号」の評価

	「在来」との比較			「ひたちあおば」との比較			栽培意向	市場性
	生育 ²⁾	葉の形状	香り	生育	葉の形状	香り		
いばらき○3号	2.3	2.5	2.6	2.3	2.4	2.4	2.9	2.9

¹⁾ 現地検討会(H28.9.13)における調査。 ²⁾ : 評価については、1悪い、2同等、3良い、の3段階で評価した平均値。
評価者: 市場関係者、生産者計20名(無回答項目等含む)。

活用上の留意点

- ・晩抽性であっても、冬栽培では電照5時間が必要です。
- ・栽培を希望する産地は、県と採種に関する許諾契約を結びます。